

平成28年 8 月25日

陳情第81号

中心市街地の耐震強度不足の建築物に対し、耐震対策を促すことを求める陳情

## 中心市街地の耐震強度不足の建築物に対し、耐震対策を促すことを求める陳情

### 【陳情趣旨】

小田原市民会館、小田原市役所、小田原市中央公民館などは、その建築から随分と年月が経過し、国土交通省などが定める現行の建築物の耐震強度を満たしていないことから、実施中の物を含め耐震補強工事がされています。

一方、鉄道5社の路線が入るターミナル駅である小田原駅の、ごく限られたエリアである小田原市中心市街地を見回すと、少なからず老朽化し耐震強度が不足していると思しき建物がずいぶんと見受けられます。

その中でも、近年箱根登山デパートを建て替えた箱根登山鉄道の先見性は、参考にされるべきであると考えます。小田原地下街ハルネも箱根登山鉄道と協議していれば、あるいは別の方向性を見出していたかもしれないとも考えます。

小田原市では、最近開館したウメコという駐車場棟に併設した施設と別に、「お城通り地区再開発事業」の仕上げ事業と言うべき、本体工事が控えております。

芸術文化創造センターの構想過程と同様に、多様な意見を可能な限り組みこもうとした施設の整備が注目されるどころです。

そうした再開発施設整備をするうえで、また中心市街地の活性化と安全性向上を図るうえで、中心市街地の耐震強度不足の建物をどうするかが、官民一体となった中心市街地活性化政策の中核的課題になります。

HG S T社（旧日立小田原工場）に対し、「中心市街地活性化基本方針」を順守し、商業施設への転用を『断じて、容認できない』と通告していながら、その中心市街地の活性化をいかに実行しようとしているのか、理解している市民はいないと思います。

小田原市が整備しようとしている施設と、中心市街地の民間施設とが、その利活用によって中心市街地の活性化に寄与することを目指すのであれば、中心市街地の民間事業者にもHG S T社に強い「要望」をしたのと同様に、時代の要請に即した施設に更新されることを「要望」する必要があります。

### 【陳情項目】

小田原市議会として、小田原市長に対し、中心市街地の耐震強度不足の民間建物所有者に対し耐震対策を講じることを促すよう、求めること。

平成28年8月25日

小田原市議会議長

武松 忠 様

提出者

小田原市中村原303

加藤 哲男 ㊞